

学校法人信州長野学園について

〈認可事項〉 学校法人の設立に係る寄附行為の認可

- 1 設立の趣意 別紙のとおり
- 2 学校法人概要
- (1) 名 称 学校法人信州長野学園
- (2) 位 置 長野県長野市三輪 1 3 1 3 番地
- (3) 目 的 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的とする。
- (4) 設置校 ステップ高等学校 通信制課程（広域） 普通科
- (5) 設立代表者 原田 晃史
- (6) 役員等 理事 5 名、監事 2 名 評議員 1 1 名

区分	氏 名	住 所	寄附行為上の 選任区分	職 業	年 齢
理事	原田 晃史		第 6 条 (3) 学識経験者他	株式会社金内建設代 表取締役 学校法人光和学園理 事長	
〃	原田 充康		第 6 条 (3) 学識経験者他	株式会社 KYOTO 保健鍼 灸整骨院代表取締役	
〃	村山 吉郎		第 6 条 (2) 評議員	学校法人光和学園参 与	
〃	丹羽 洋介		第 6 条 (1) 校長	信州スポーツ医療福 祉専門学校前校長	
〃	田村 昌之		第 6 条 (2) 評議員	田村総合法律事務所 所長（弁護士）	
監事	後藤 義満		第 7 条	無職	
〃	下沢 順一郎		第 7 条	伊那食品工業株式会 社 特別顧問	

(7) 資 産

(ア) 資産の総額

円

[内訳]

基本財産	円	
校 地	－円	長野市から賃借
校 舎	－円	長野市から賃借
校具、教具、図書、備品等	19,783 千円	新規購入
運用財産	円	原田晃史氏からの寄附

(イ) 校地等

a 校 地	総面積	－m ²
	うち校舎敷地	－m ²
	うち屋外運動場	－m ²

b 校 舎	総面積	－m ²
	構 造	－

c 校具、教具、図書及び備品

校 具	机、椅子等	5 1 5 点
教 具	テレビ、パソコン等	1, 0 2 4 点
図 書		1 0, 2 3 0 点
備 品	事務机、書棚など	1 0 0 点

ステップ高等学校について

〈認可事項〉 私立高等学校の新設（2次審査）

- 1 設置の趣意 別紙1「設置趣意書」のとおり
※学習コースの名称を変更
- 2 学校概要
- (1) 目的 教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校教育の基礎の上に高等学校教育を施すことを目的とする。
- (2) 名称 ステップ高等学校 通信制課程（広域） 普通科
- (3) 教育区域 長野県、神奈川県、京都府
- (4) 位置 長野市信更町上尾 2 2 0 0（旧長野市立更府小学校）
- (5) 開設時期 令和4年4月1日
- (6) 設置者等
- ① 設置者 長野市三輪 1313-13
学校法人 信州長野学園（認可申請中）
理事長予定者 ^{はらだ}原田 ^{あきふみ}晃史
平成30年1月～ 学校法人光和学園 理事長
- ② 校長 ^{にわ}丹羽 ^{ようすけ}洋介
令和3年4月～10月 信州スポーツ医療福祉専門学校 校長
令和4年4月～ ステップ高等学校 校長(就任予定)
- 3 編制、施設・設備
- (1) 修業年限、収容定員（収容定員基準：240名以上）

修業年限	収容定員	取得単位数
3年以上	240名	74単位以上

(2) 教職員組織

(人)

区分	校長	副校長	教諭	講師	養護 教諭	看護師 SC	事務 職員	計	
基準	1	5				—	相当数		
R 4 計 画	計	1	1	9	4	0	1	5	21
	専任		1	9				5	16
	兼任	<u>1</u>			4		1		5
所有免許	—	国	国・地・公3 数3・理・家・体 英2・情2・商						
R 6 計 画	計	1	1	15	9	2	1	6	35
	専任		1	15	4	2		6	29
	兼任	<u>1</u>			5		1		6

(3) 教育課程 別紙2「設置要綱 8 教育課程及び授業時数等」のとおり

(4) 校 地 総面積 10,538㎡ 〈長野市から賃借予定〉

(内訳) 校舎敷地 3,685㎡

運動場 5,419㎡ その他 1,434㎡

項目		面積	説明
校舎敷地	校舎等敷地	3,685㎡	プール敷地を除く
	その他	1,434㎡	駐車場等
	小計	5,119㎡	
運動場	屋外運動場	5,419㎡	
	小計	5,419㎡	
合計		10,538㎡	

(5) 校舎等 延べ面積 2,682.19㎡ 〈長野市から賃借予定〉

(独立校の設置基準は1,200㎡以上)

種別	室名	室数	面積(㎡)	説明
校舎	普通教室	6	382.08	一部は郷土資料展示・保管場所
	特別教室	9	354.51	理科室、家庭科室他
	校長室	1	24.75	
	職員室	1	62.91	
	事務室	1	34.82	
	保健室	1	62.91	
	図書室	1	130.34	
	便所	6	98.58	男女3か所ずつ
	廊下	3	310.46	
	その他	6	95.21	
特別教室棟	特別教室	5	192.50	図工室、PC教室他
校舎 計		40	1,749.07	1,200㎡以上(独立校の基準)
体育館		1	933.12	
合計			2,682.19	

【現状】

- 校舎等は現状のまま使用可能（H30年に大規模改修済み）
- 一部の部屋には民俗資料が保管されているが、1月に市教委・住民と整理する予定

(6) 校具、教具、図書及び備品

科目	品名	数量	価格（千円）	備考
図書	社会科学、文学等	10,230		令和3年度に購入
校具	机、椅子等	515		〃
教具	テレビ、パソコン等	1,024		〃
備品	事務机、書棚等	100		〃

4 教育区域、面接指導施設及び収容定員

教育区域	本校及び協力校、 面接指導施設	定員	R4 生徒 数予測	R5 生徒 数予測	R6 生徒 数予測
長野県	本校	150			
	ステップ松本高等学院	30			
神奈川県	ステップ湘南高等学院	30			
京都府	ステップ京都高等学院	30			
計		240			

5 面接指導施設及び学習支援施設

施設名	面接指導施設			学習支援施設
	ステップ松本 高等学院	ステップ湘南 高等学院	ステップ京都 高等学院	信州スポーツ医 療福祉高等学院
住所	長野県松本市本 庄1-3-12 アカギビル3階	神奈川県横須賀 市湘南国際村 1-7-3	京都府京都市左 京区岡崎徳成町 28-22	長野県長野市三 輪1313 信州スポーツ医 療福祉専門学校
面積	242.25 m ²	177.40 m ²	178.90 m ²	149.95 m ²
面積基準	130.00 m ² 以上	130.00 m ² 以上	130.00 m ² 以上	—
定員（人）	30	30	30	30
教員数※ （人）	1	1	1	—
所有形態	賃貸	賃貸（学校法人光 和学園所有）	賃貸（理事長予定 者が経営する会 社所有）	賃貸（学校法人光 和学園所有）

※面接指導は、本校の教員が行う。

6 開設費

財源		備考	開設費		備考
科目	金額		科目	経費	
自己資金			校地		
借入金			校舎		
寄附金			校具・備品		
事業収入			教具		
その他			図書		
			その他		
財源 計			経費 計		財源残額

7 授業料等

単位：円

項目	経費（円）	備考
授業料	11,000	1単位当たり
入学検定料	20,000	
入学料	100,000	
通学、在宅ネットサポート料	180,000	通学コース、在宅ネットサポートコース
施設設備費	120,000	年額
教育充実費	50,000	年額
課外授業講座料*	180,000	希望者のみ

※スポーツトレーナー、介護福祉の講座料で、学校納付金には含めない。

[参考] 年間 28 単位履修の場合

総合コース（在宅コース）

自宅学習を行いながらレポート学習に取り組み、年 2 回（年間 14 日間）の集中スクーリングに参加する。（メディア利用による学習も可能）

初年度納付金 598,000 円

2 年次以降納付金 478,000 円

総合コース（通学コース、在宅ネットサポートコース）

○通学コース

週 4 日以上登校し、レポート学習と対面の面接指導を受ける。集中スクーリングには参加しない。（追加料金なしでネットサポートを利用可能）

○在宅ネットサポートコース

自宅学習を行いながら本校の対面の面接指導にネット参加で学習するとともに、年 2 回（9 日間）の集中スクーリングに参加する。

初年度納付金 778,000 円

2 年次以降納付金 658,000 円

8 収支計画

(1) 令和4年度収支予算

科目		1次審査時	2次審査	説明
収入の部	授業料			
	施設設備費			
	教育充実費			
	入学金			
	入学検定料			
	選択科目履修費			
	寄附金収入			
合計				
支出の部	人件費支出			
	経費支出			
	施設・設備支出			
	合計			
収支	当年度収支差額			
	前年度繰越収支差額			
	合計			

(2) 令和5年度収支予算

科目		1次審査時	2次審査	説明
収入の部	授業料			
	施設設備費			
	教育充実費			
	入学金			
	入学検定料			
	選択科目履修費			
	寄附金収入			
合計				
支出の部	人件費支出			
	経費支出			
	施設・設備支出			
	合計			
収支	当年度収支差額			
	前年度繰越収支差額			
	合計			

(3) 準備が必要な自己資金

私立学校等の設置等に関する審査基準（長野県）

「当該私立学校の開設年度の経常的経費（人件費、物件費、借入金利息の合計額を言う。）の2分の1に相当する資金を保有していること。

ただし、施設を自己所有しない場合は、当該私立学校等の開設年度の経常経費の2分の1に相当する資金に加え、完成年度まで（開設年度から3年間を限度とする。）の経常経費の財源に充てる自己資金に相当する額を保有していること。この場合において、保有すべき資金額は開設年度の1年分の経常経費に相当する額を限度とする。」

開設年度の経常的経費 (A)	開設時に保有が必要な現預金 (B=A)	自己資金 (C)
		<

【参考】

1 学習形態

コース	型	学習形態	面接指導施設	授業料等※	
総合	通学	通学型	本校に通学して学習 (週4日以上通学。他の時間は自習・特別活動等、週2回面接指導)	—	180,000円 + 598,000円
		登校個別指導型	本校への通学とネットサポートを併用(本校で週2回の面接指導と在宅でのネットサポートを利用)	—	
	在宅ネットサポート	ネット個別指導型	在宅でネットサポートを利用 (本校の授業を在宅でネット視聴。本校でのスクーリングあり)	利用可	598,000円
	在宅	メディア視聴型	在宅学習(在宅での添削指導と集中スクーリングの一部をメディア利用で代替)	利用可	
在宅型		在宅学習 (在宅での添削指導と本校での集中スクーリング)	利用可		

※授業料は28単位履修の想定(初年度)

2 教員との関りによるコミュニケーション能力の育成

「サポーター制度」の導入

- 生徒が自分の「サポーター」となる教員を選ぶ。
- サポーターとなった教員は、生徒の相談に乗り、教科指導以外でも個別に支援する。
- サポーターとの関わりの中で、生徒のコミュニケーション能力を育てていく。
- 基本的にはサポーターとなった教員が担任となる。特定の教員に集中する場合には、担任とサポーターを別にも検討している。

3 地域との連携による学習活動

(1) 参加者

- 通学コースの生徒
- 在宅コース、在宅ネットサポートコースの生徒も参加可能

(2) 実施内容

- 「総合的な探究の時間」または特別活動等として実施
- 人付き合いが苦手な生徒にきっかけを与える。
 - ①学校に隣接するワイナリーとの協働
 - ・ワイン用ぶどうの栽培、摘み取り、醸造などの体験活動
 - ・収穫祭への参加
 - ②農業体験
 - ・稲作等の体験活動
 - ③地域の行事への参加
 - ・地域のお祭りや文化祭などの行事への参加
 - ④その他
 - ・今後地域との話し合いの中で検討

(3) 住民への説明状況

日付	内容
7月7日	・信更地区区長会で旧更府小学校に通信制高等学校設置したい旨説明 ・全会一致で旧更府小学校後利用検討委員会に一任される。
7月16日	・旧更府小学校後利用検討委員会が開催され、受け入れが承認される。 ・信更町三水地区での住民説明会開催を決定
8月27日	・信更町三水地区で住民説明会を開催（長野市教委同席） ・今後の施設利用や地域との協力について質疑 ・三水地区住民に承認される。
11月13日	・信更町氷ノ田地区役員及び氷熊地区で住民説明会を開催（長野市教委同席） ・スクールバスのルートについてなどの要望が出される。
今後	・学校所在地である信更町上尾地区での住民説明会を実施予定

4 教員の人件費

- 1次審査時
- 2次審査

5 通学手段

- マイクロバス1台、10人乗り2台を用意
- 国道19号の最寄りのバス停からの送迎
- 稲荷山駅又は篠ノ井駅からの送迎